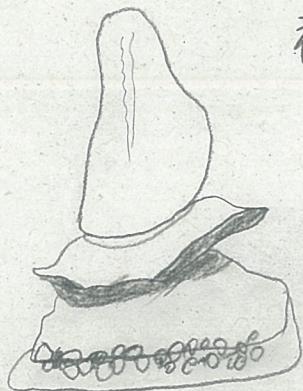


種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(大崎神社)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み、説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。



神社前の海岸空き地には塩屋神社記念碑が立つ。

境内には竜の形をした石が2つある。



杉田鯨次の酒樽。
長崎県から運ばれて来たとされる。



賽銭箱の上の麻縄には何枚もの国旗が
ついており、大崎出身者が島外で暮す際に
国旗に名前を書き、安全を祈る。

塩屋祝い

毎年1月2日午後2時より塩屋祝いを行う。
先祖代々塩焚き時代から受け継いでいる。

塩屋祝いはナオライとも言う。

西之表市上西の大崎塩屋神社

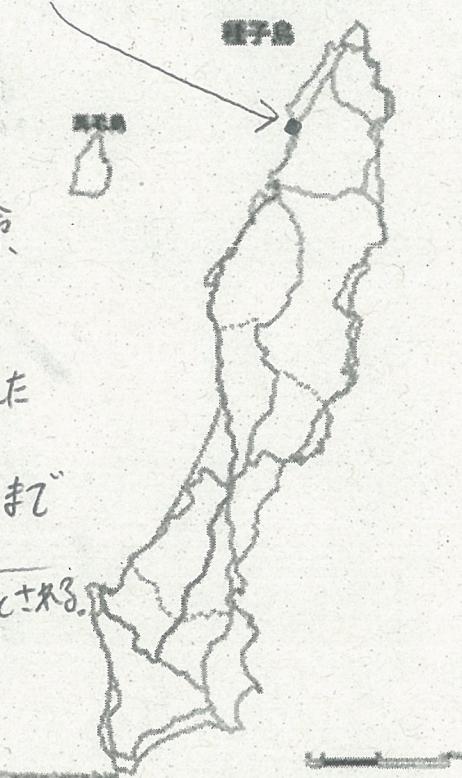
由来

鎌倉在中の平信基が島主として
種子島へりした時、貝太郎・貝次郎・貝三郎と
名乗る製塩集団を伴て来た。

これにより島に初めて鎌倉伝の
網代釜による製塩が始まり、
大崎から島内に20の塩屋が
できるまでに発展した。

天照大神を玉神に、陪神に塩土翁命、
省族神に貝太郎等を祀る浦も多い。
中でも大崎は島主家との縁ゆが深く
社殿には三鯵紋の軒瓦を許された
唯一の塩屋であった。
製塩は明治三十八年、塩車規制施行まで
続いた。

天照大神 - 暑偉い日の神様、皇室の祖先とされる。
主神 - 祀られる神の中で中心となる神。
陪神 - 神道で主神に供奉する神。



※ 参考文献/出典(著者名、書名、出版社名、出版年), HP(サイト名、URL)

(例)・井元正流『種子島』(春苑堂出版、平成11(1999)年)

・西之表市役所HP(<http://www.city.nishinomote.lg.jp/admin/index.html>)

ふるさと種子島(<http://www.furusato-tanegashima.net/hi/ni/oosakisiyajinsha-yuraku.html>)

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。B: 一通り書けている。C: 不十分な分量・内容。